

6.4 運送業務の詳細ビジネスモデル

6.4.1 運送業務ビジネスモデルの概念

E D I活用レベルが最も進んだ状態の「伝票レスビジネスモデル」を想定した概念図を以下に示します。

(1) 特積み運送業務ビジネスモデル概念図

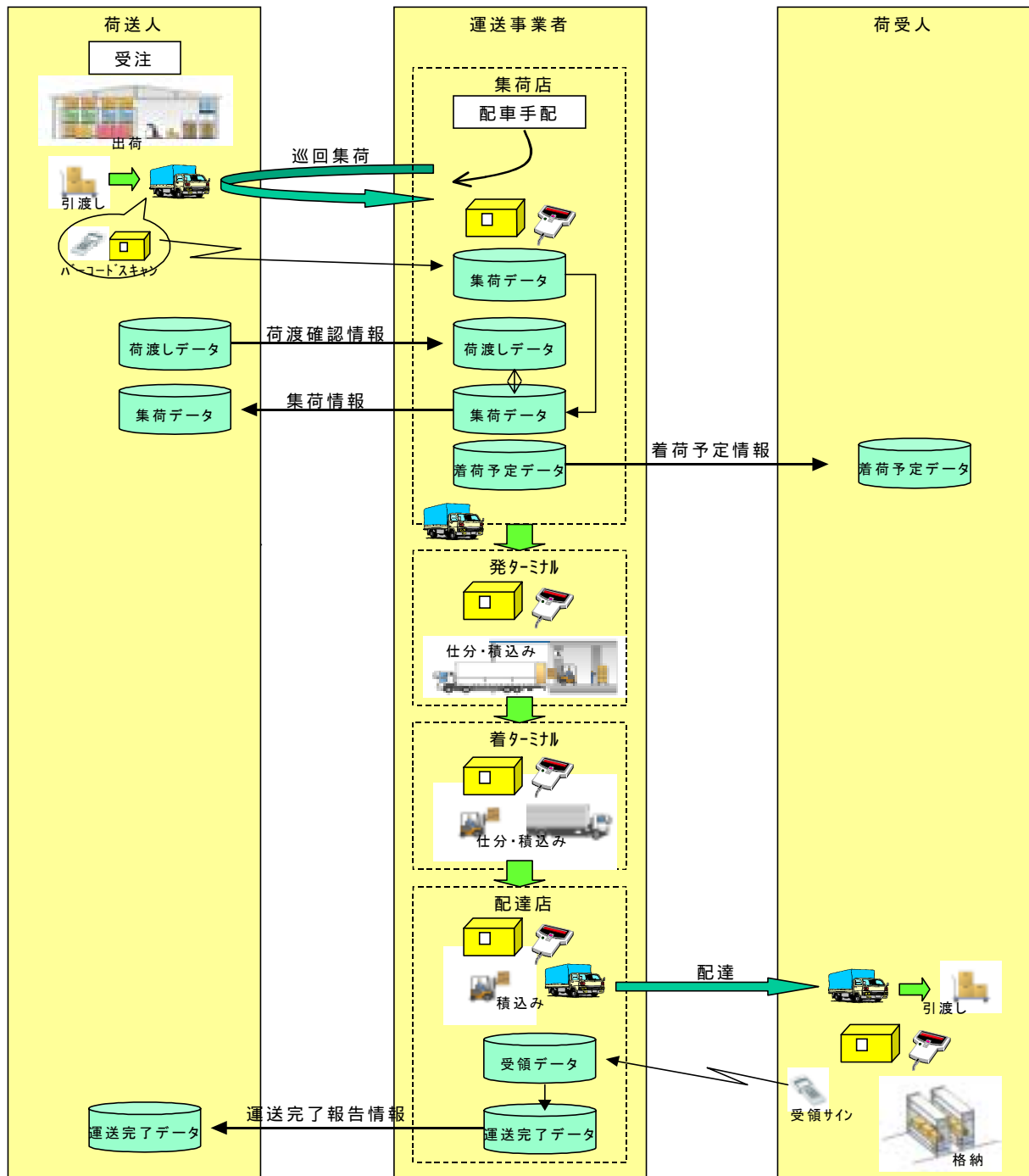


図6-10 特積み運送業務ビジネスモデル概念図

(2) 特積み運送における貨物追跡業務ビジネスモデル概念図

貨物追跡業務は独立した業務ではなく全体の流れは、前ページ、図6 - 10の運送業務の中に取り込まれて実施されています。

各拠点において、入った時と出る時を追跡ポイントとしています。

荷送人への貨物の状態通知は、J T R Nの運送状況情報を使用します。

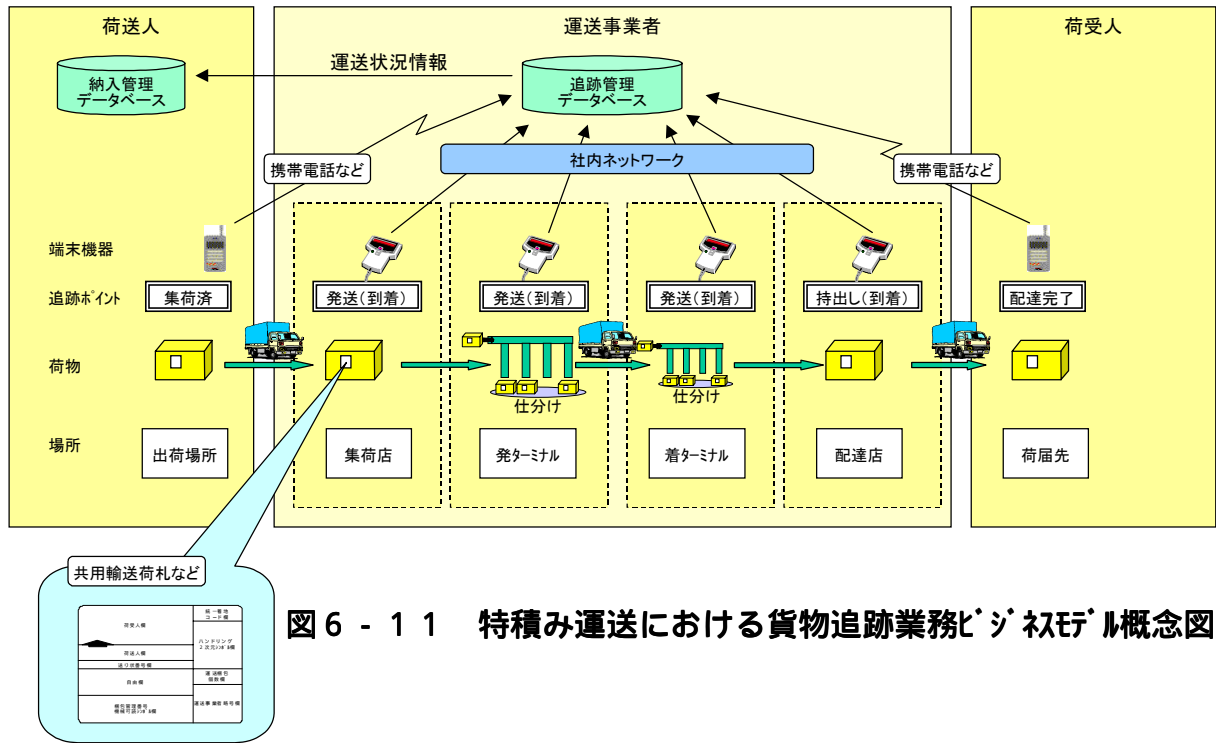


図6 - 11 特積み運送における貨物追跡業務ビジネスモデル概念図

(3) 一般貨物運送業務（複数集荷・複数配達）ビジネスモデル概念図

複数の集荷場所を廻って集荷し、複数の届け先を廻って配達する場合のモデル概念図を図6-12に示します。

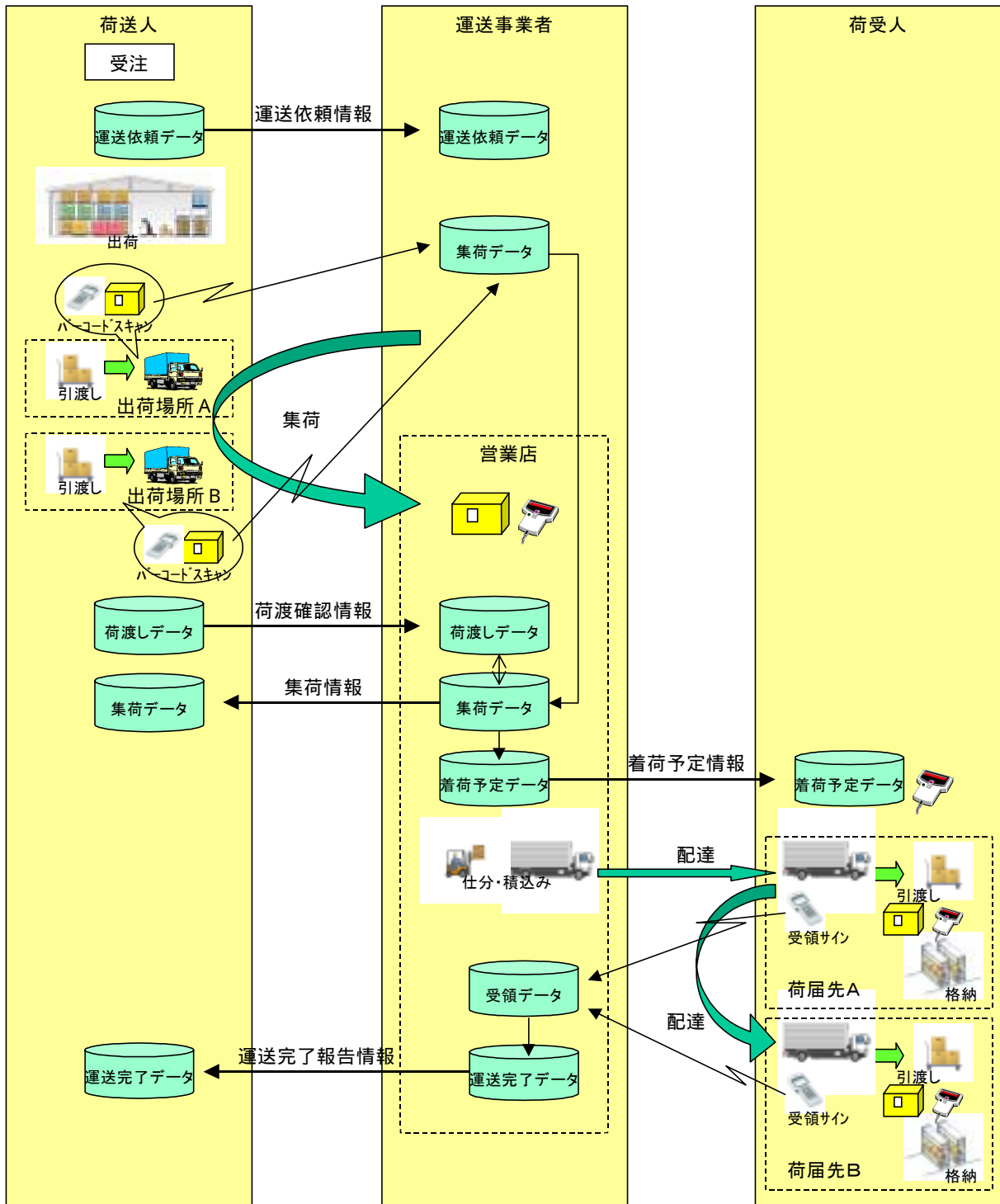


図6-12 一般貨物運送業務（複数集荷・複数配達）ビジネスモデル概念図

(4) 一般貨物運送における貨物追跡業務(複数集荷・複数配達)ビジネスモデル概念図
 貨物追跡業務は独立した業務ではなく全体の流れは、前ページ、図6-12の運送業務の中に取り込まれて実施されています。

一般貨物運送の形態では、集荷場所から配達場所へ直行するモデルも考えられますが、ここでは複数の集荷場所を回って集荷し、営業店で方面別に仕分けを行い、複数の届け先を回って配達するモデルを対象としています。

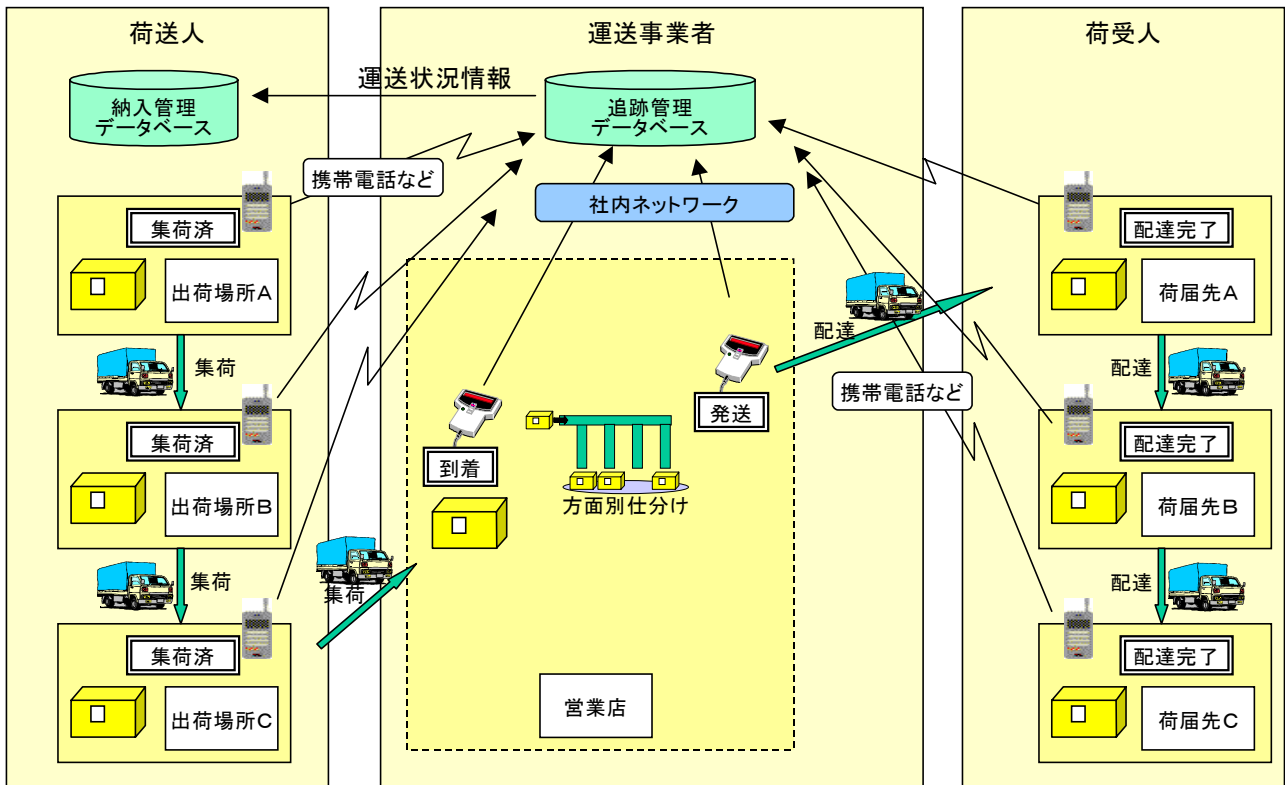


図6-13 一般貨物運送における貨物追跡業務(複数集荷・複数配達)ビジネスモデル概念図

(5) 中継運送における貨物追跡業務ビジネスモデル概念図 (集荷中継)

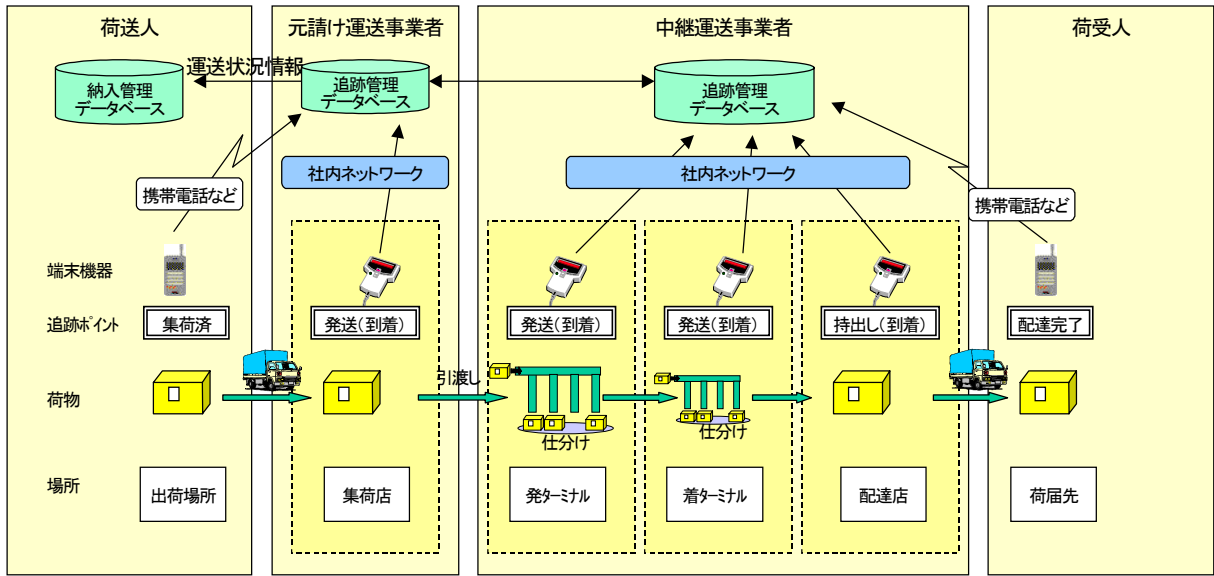


図 6 - 1 4 中継運送における貨物追跡業務ビジネスモデル概念図 (集荷中継)

(6) 中継運送における貨物追跡業務ビジネスモデル概念図 (配達中継)

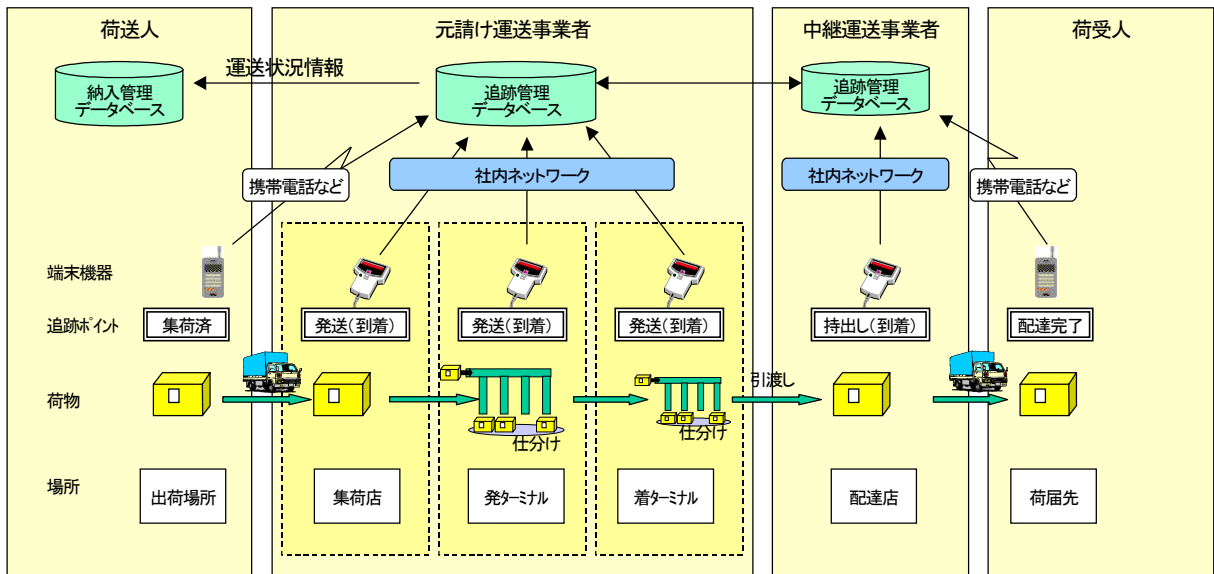


図 6 - 1 5 中継運送における貨物追跡業務ビジネスモデル概念図 (配達中継)

(7) 運賃請求支払業務に関するビジネスモデル概念図

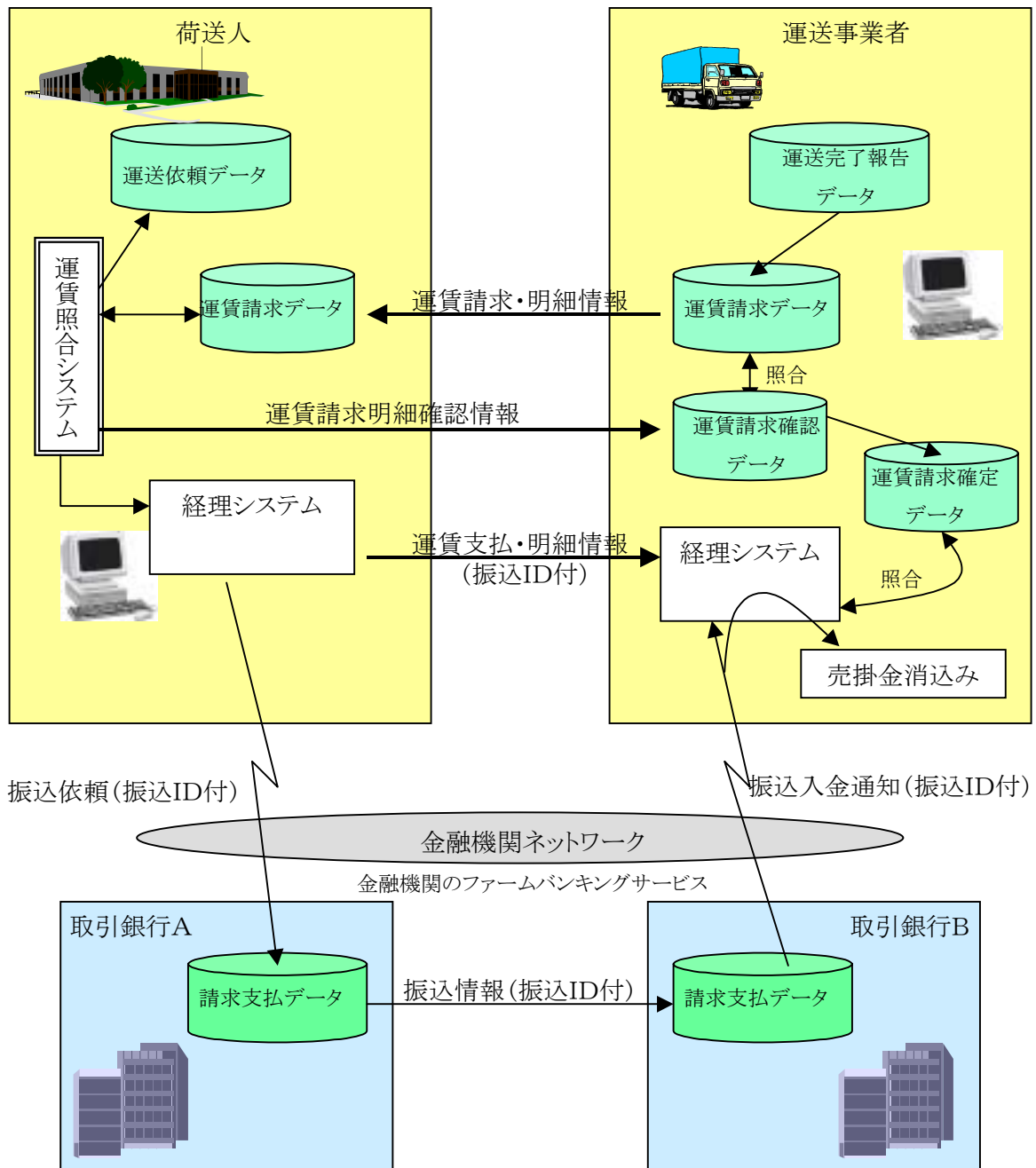
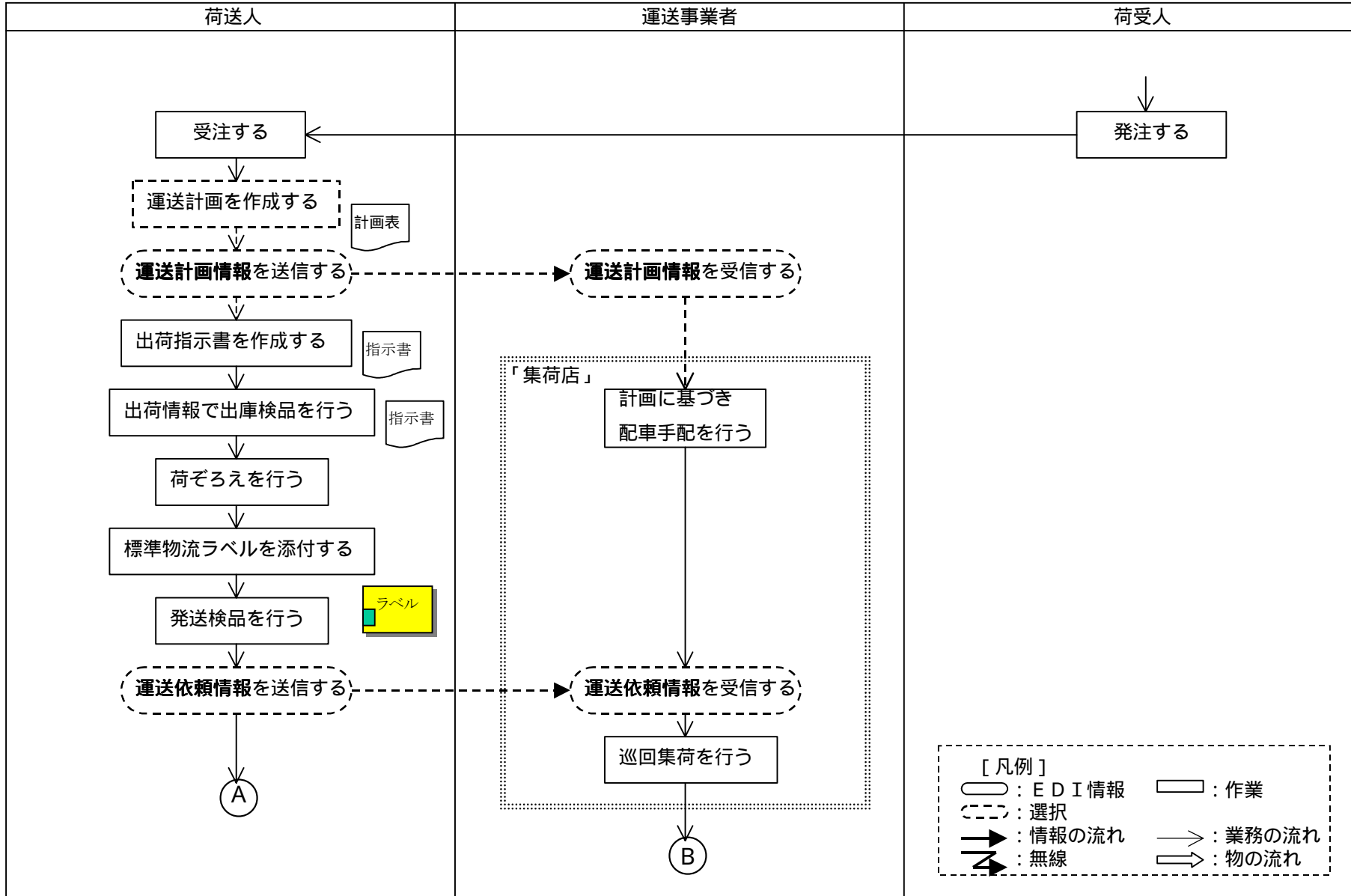
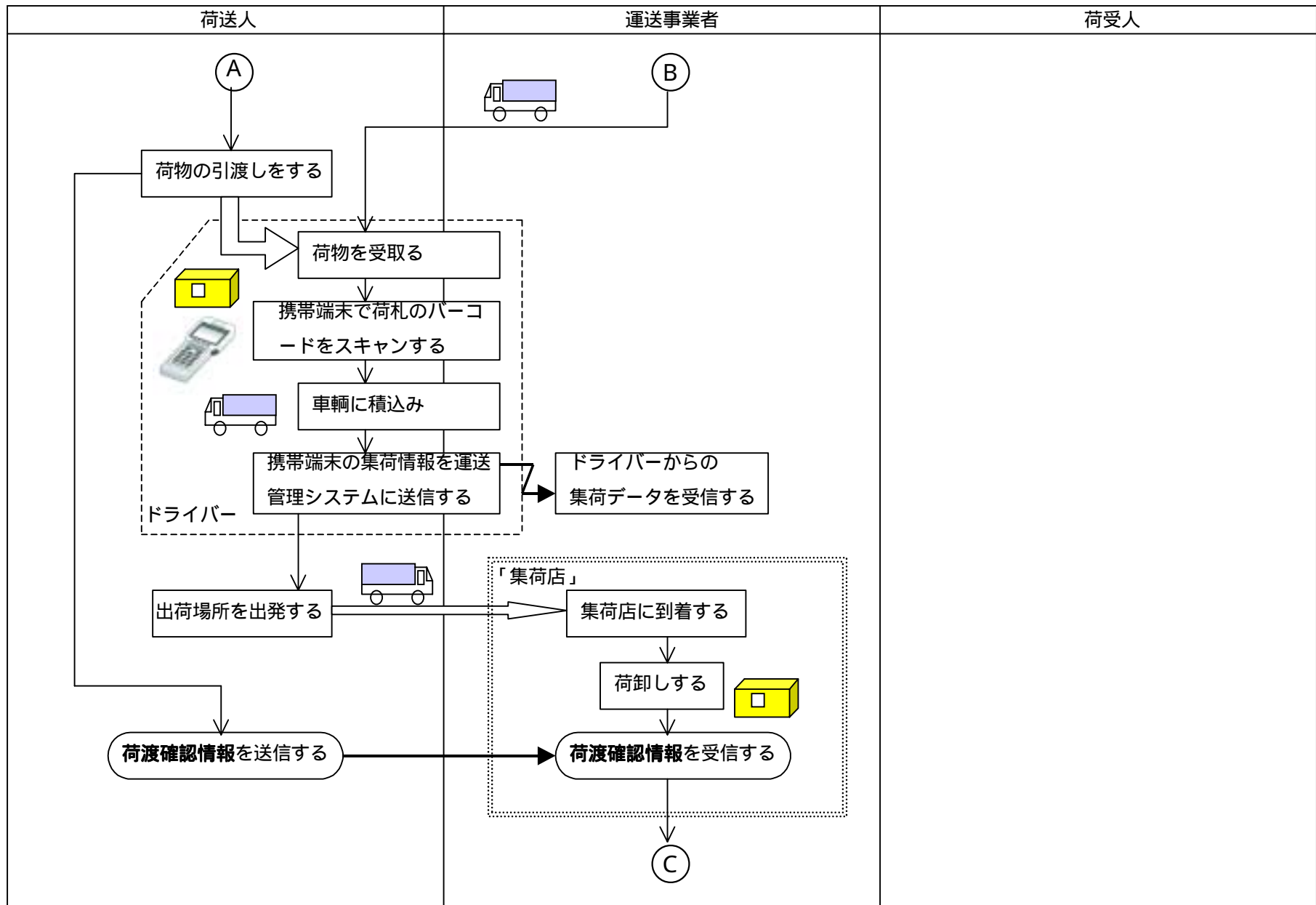


図6 - 16 運賃請求支払業務に関するビジネスモデル概念図

運送業務におけるJTRNの運賃請求支払メッセージを使用したビジネスモデルです。マッチングキー（振込ID）方式による請求支払EDIに対応しています。金融機関との接続は、ファームバンキング機能を利用しています。

6.4.2 運送業務フロー
 (1) 特積み運送業務フロー





6.5 倉庫業務の詳細ビジネスモデル

6.5.1 倉庫業務ビジネスモデルの概念

E D I活用レベルが最も進んだ状態の「伝票レスビジネスモデル」を想定した概念図を以下に示します。

(1) 持込入庫業務に関わるビジネスモデル概念図

持込入庫業務に関わるビジネスモデルの概念図を図6-17に示します。

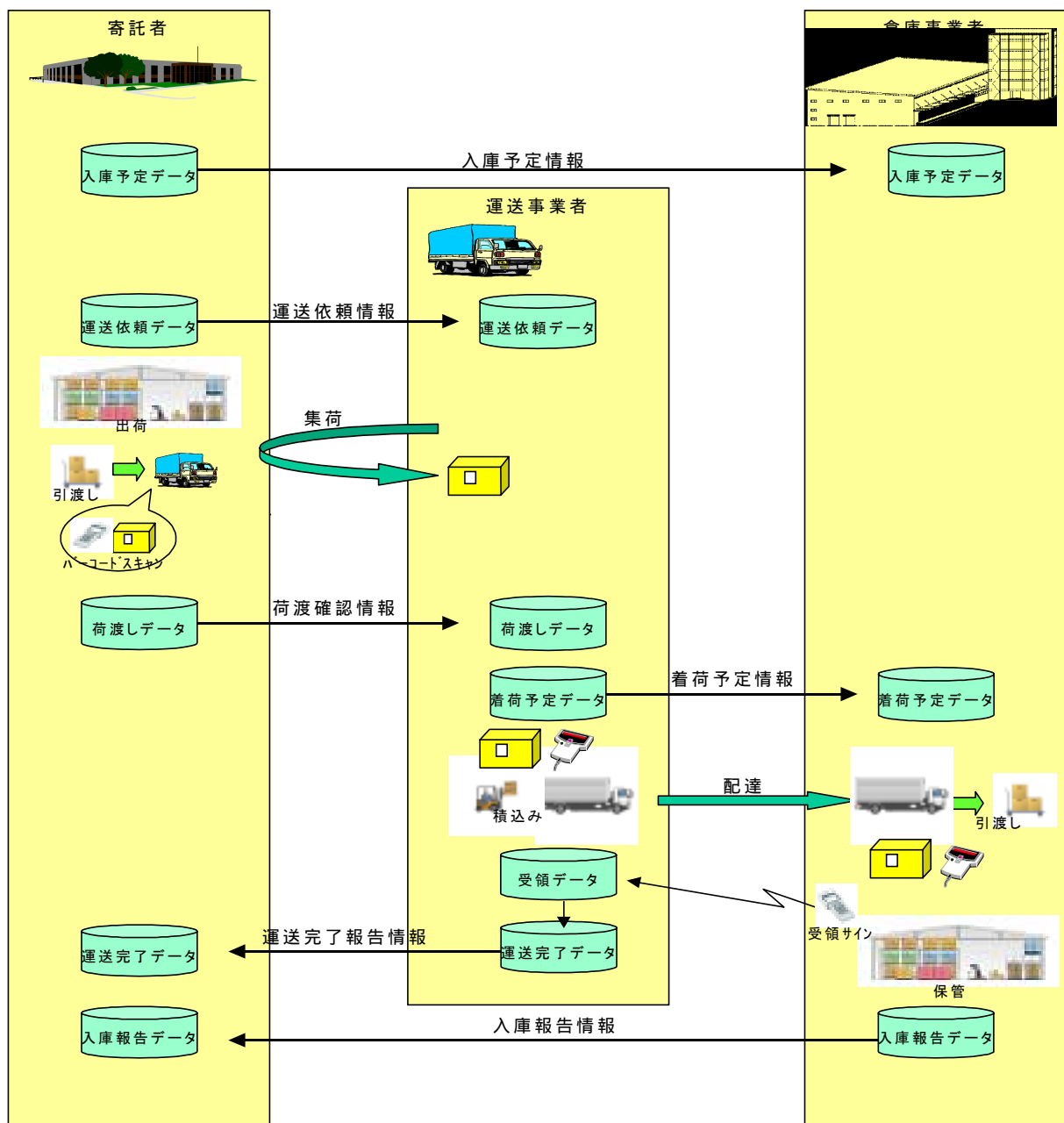


図6-17 持込入庫業務に関わるビジネスモデル概念図

(2) 配達出荷業務に関するビジネスモデル概念図

配達出荷業務に関するビジネスモデルの概念図を図 6 - 1 8 に示します。

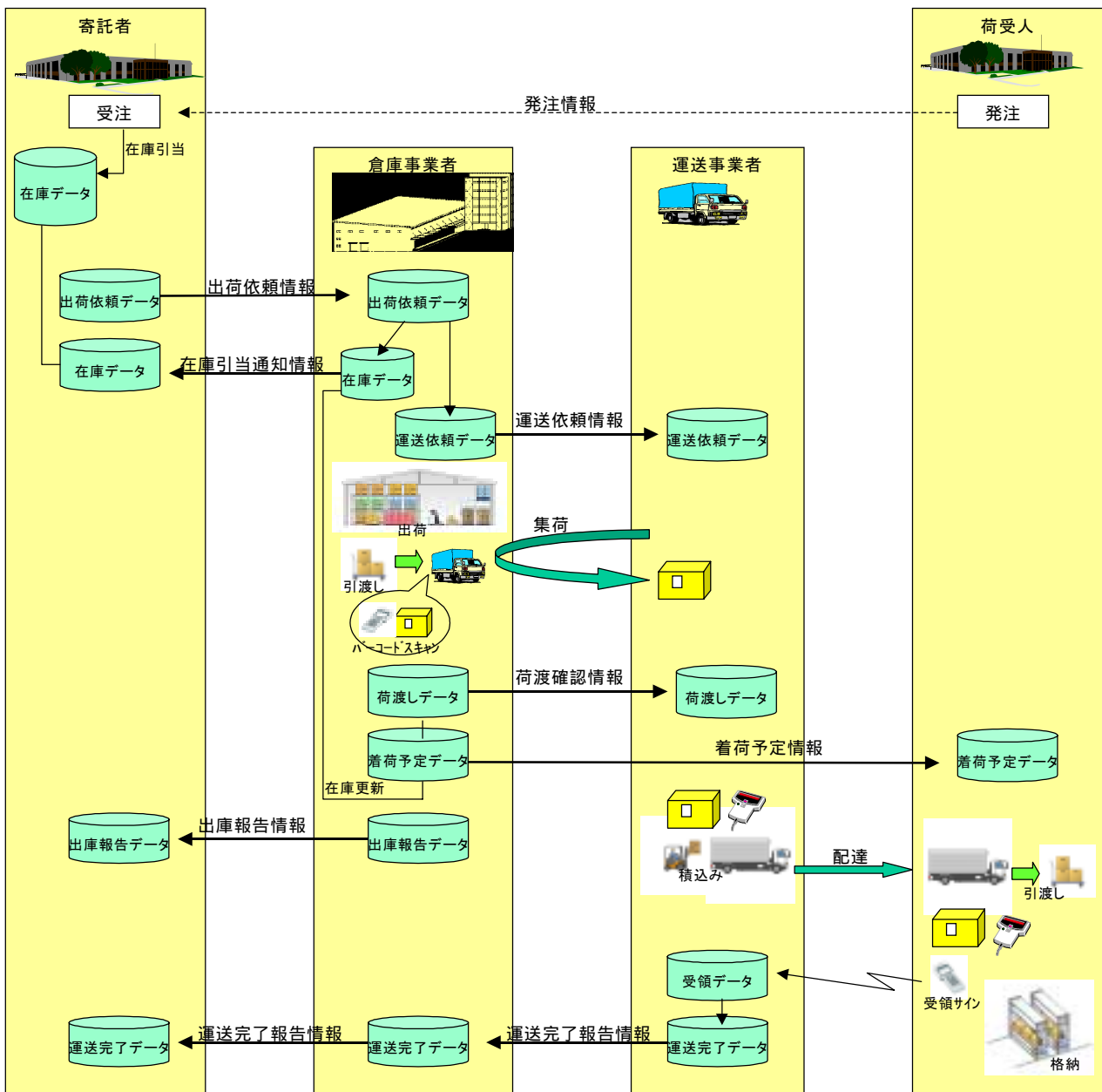


図 6 - 1 8 配達出荷業務に関わるビジネスモデル概念

(3) 流通加工業務に関するビジネスモデル概念図

流通加工業務に関するビジネスモデル概念図を図6-19に示します。

流通加工報告メッセージは、入庫報告と出庫報告を兼ねたメッセージとして設計されています。

流通加工報告承認情報は、寄託者が寄託申込書にサインをして倉庫事業者に返送している現状モデルをペーパーレス化した場合に使用する代替メッセージとして想定しています。

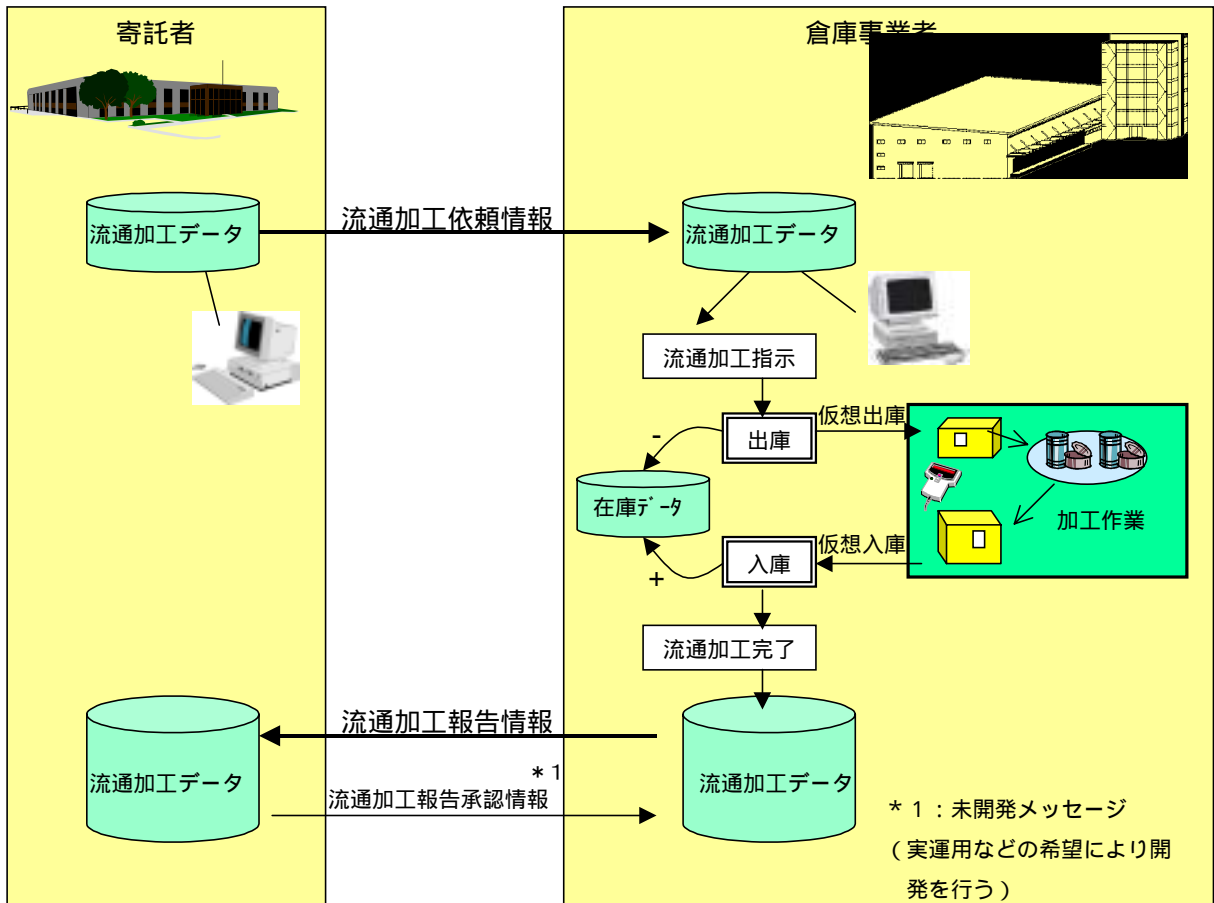


図6-19 流通加工業務に関するビジネスモデル概念図

(4) 流通加工業務に関するビジネスモデル概念図（流通加工依頼メッセージを使用しない例）
 値札付けやラベル貼りなどの簡易な流通加工作業を行う場合は、出荷依頼情報、
 出庫報告情報で流通加工を指示することができます。

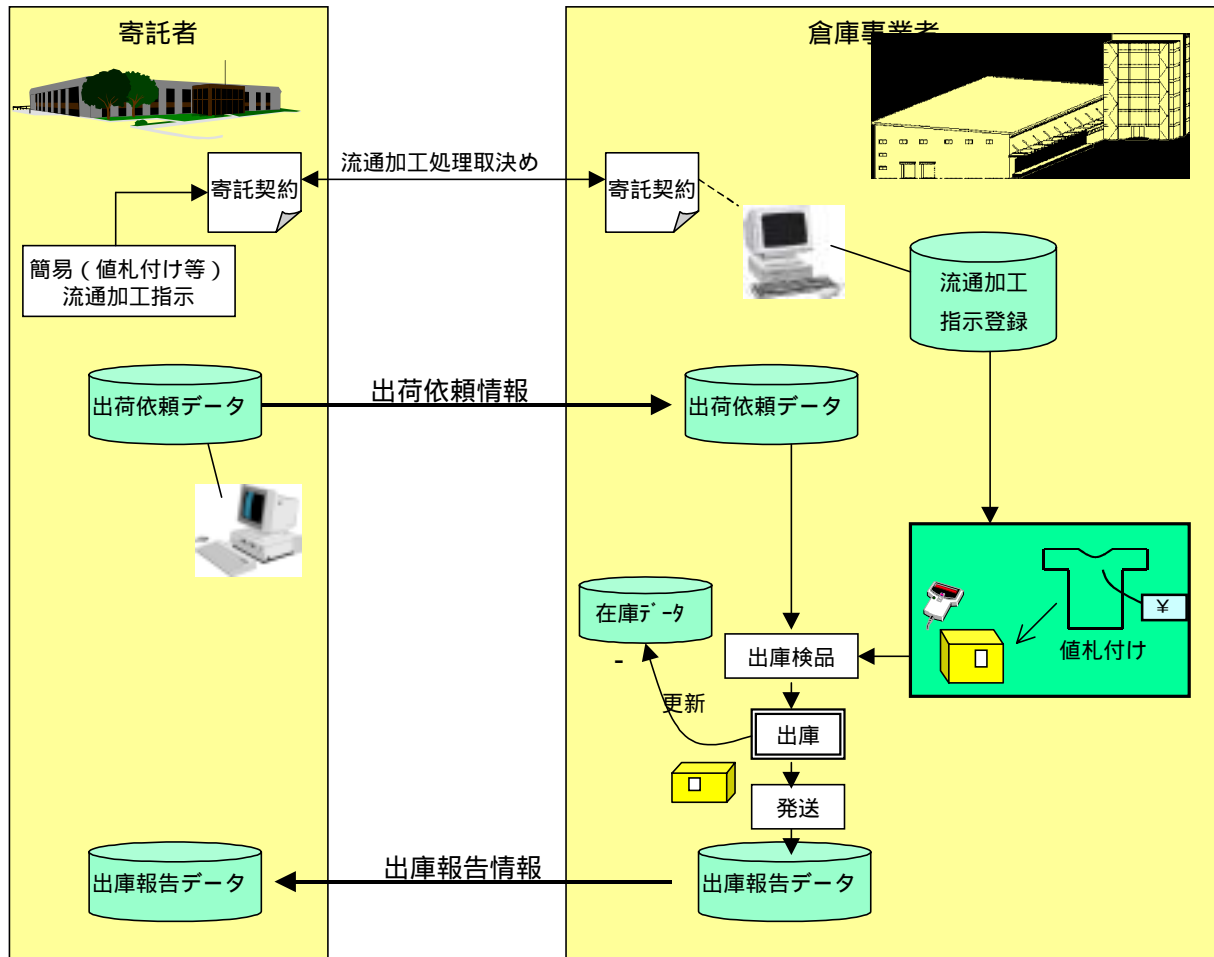


図6 - 20 流通加工業務に関するビジネスモデル概念図
 （流通加工依頼メッセージを使用しない例）

(5) 在庫報告業務に関するビジネスモデル概念図

J T R Nメッセージを使用した標準的な在庫報告業務のビジネスモデル概念図を図6 - 2 1に示します。

Web による在庫照会の機能は対象外としています。

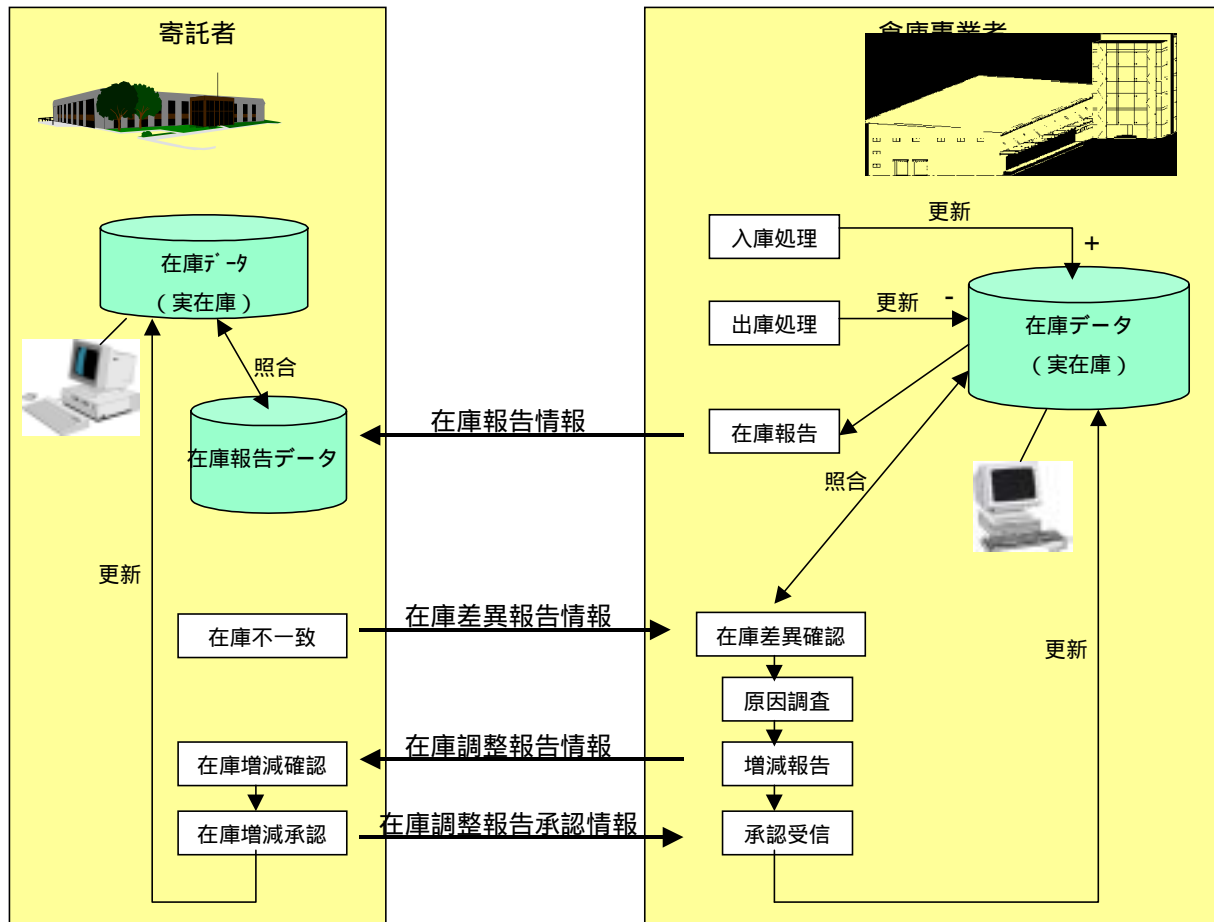


図6 - 2 1 在庫報告業務に関するビジネスモデル概念図

(6) 倉庫料金請求支払業務に関するビジネスモデル概念図

運送と同様にマッチングキー方式による請求支払EDIに対応するため、今後メッセージを改良していく前提に、振込IDを利用して売掛金の消込みまでを自動化したビジネスモデル概念図としています。

金融機関との接続は、ファームバンキング機能により実現しています。

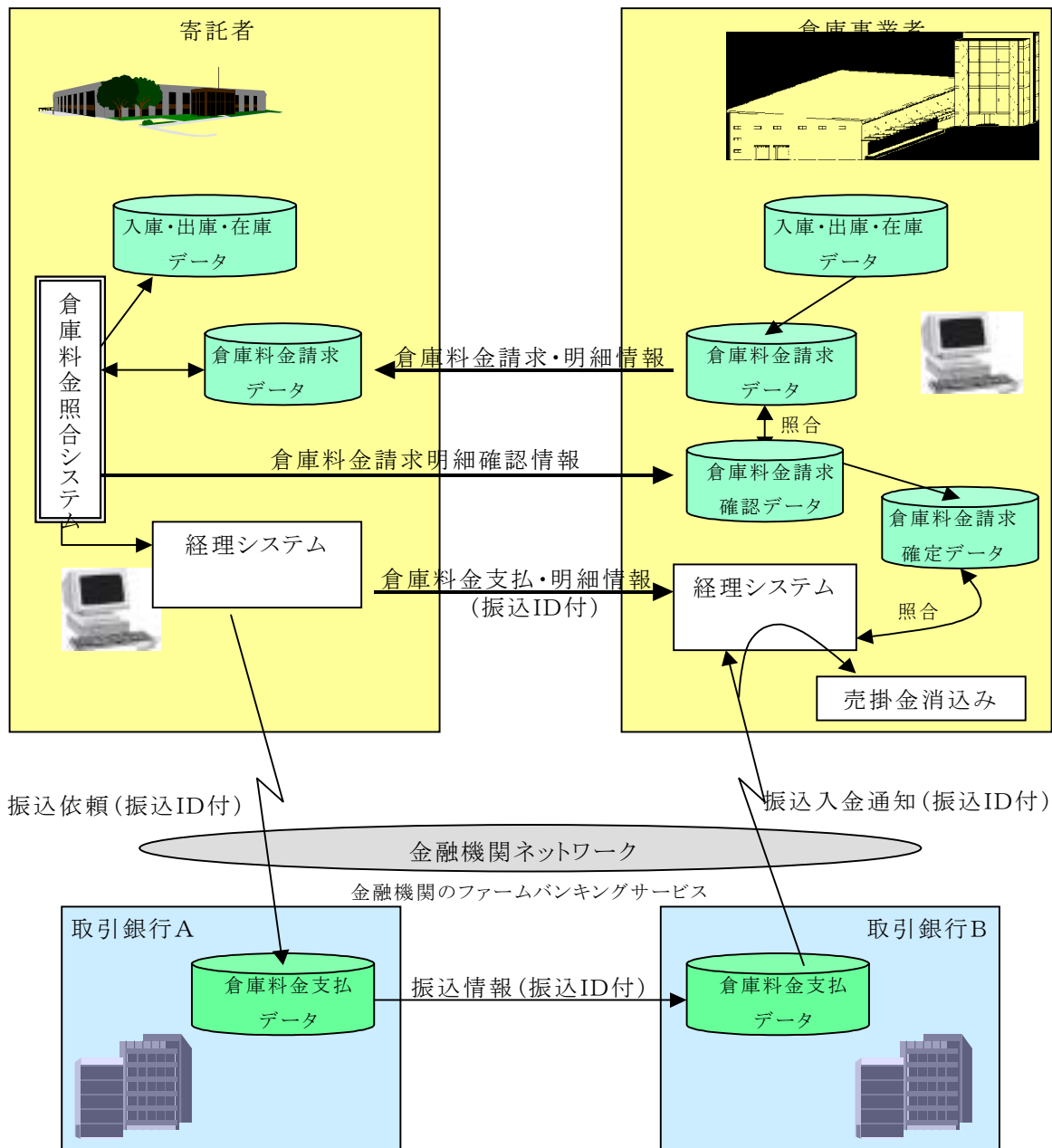
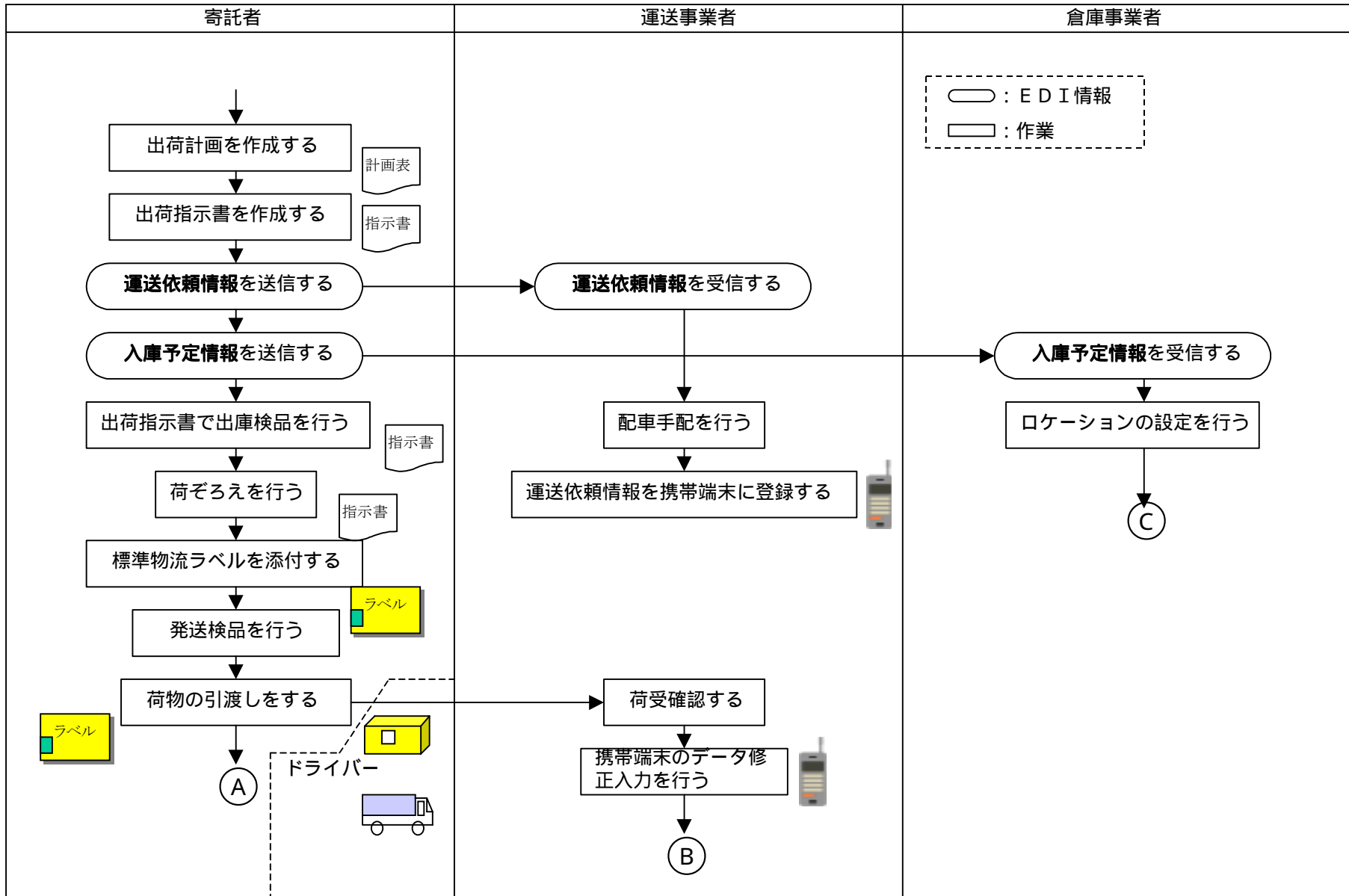
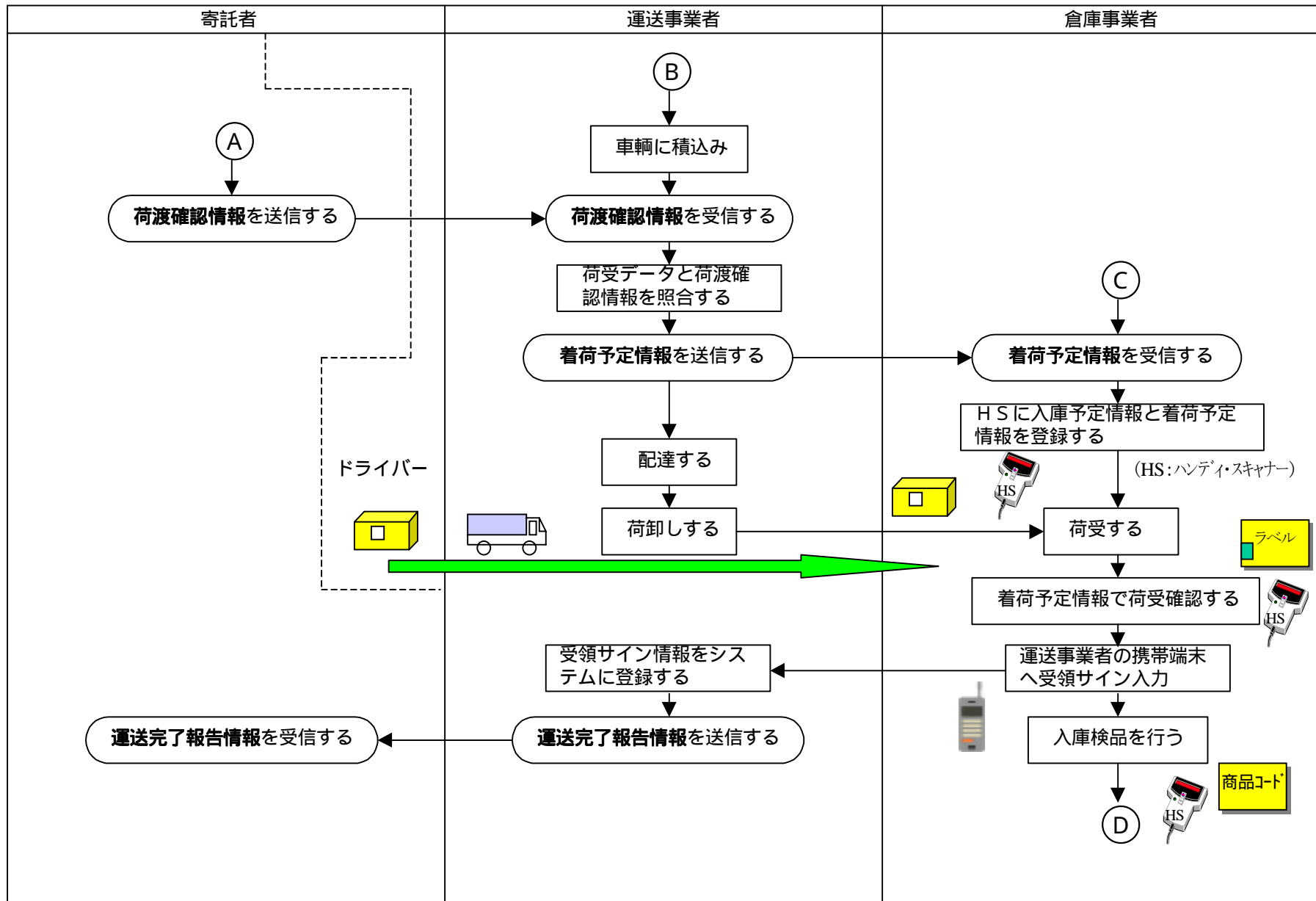
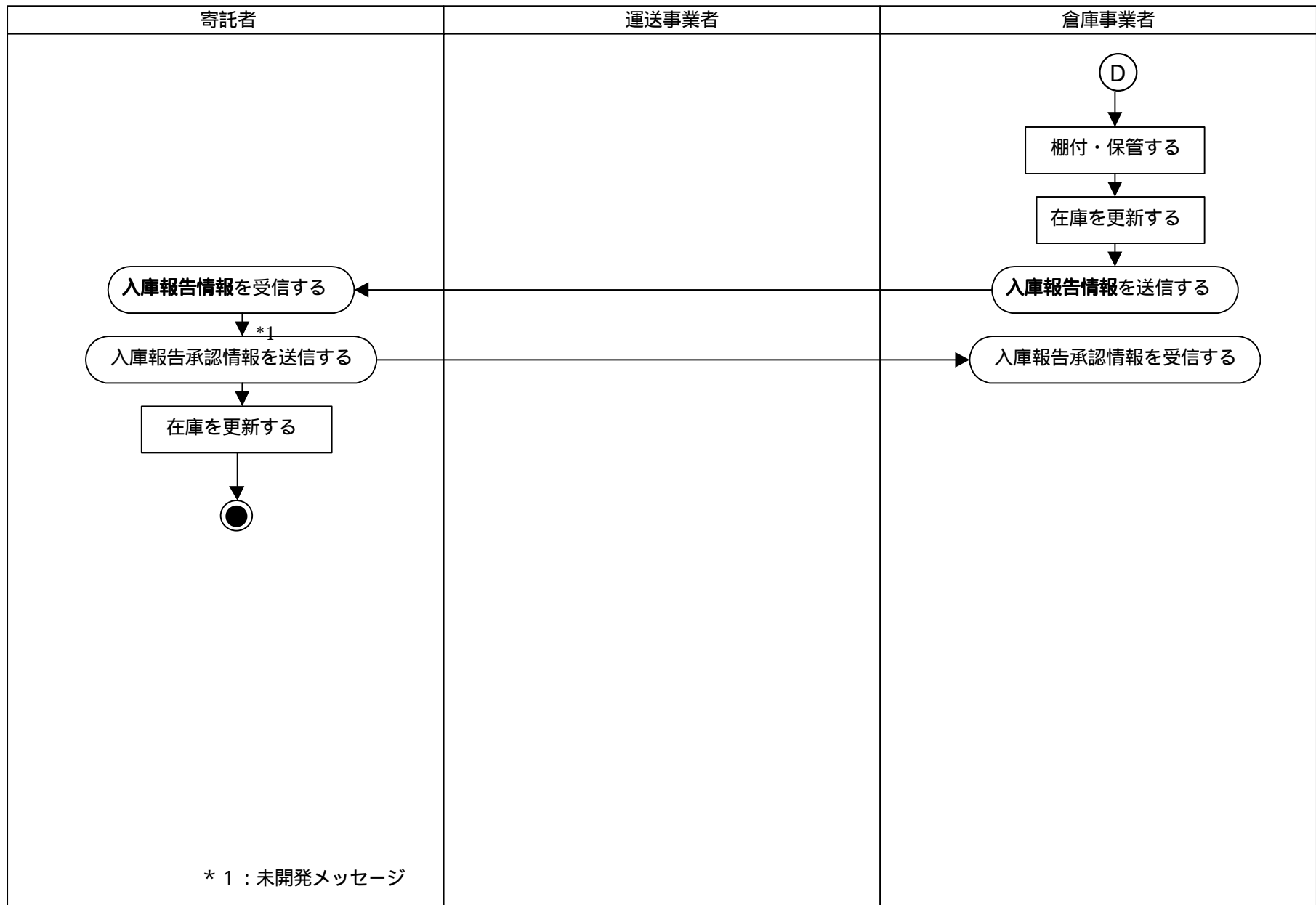


図6 - 22 倉庫料金請求支払業務に関するビジネスモデル概念図

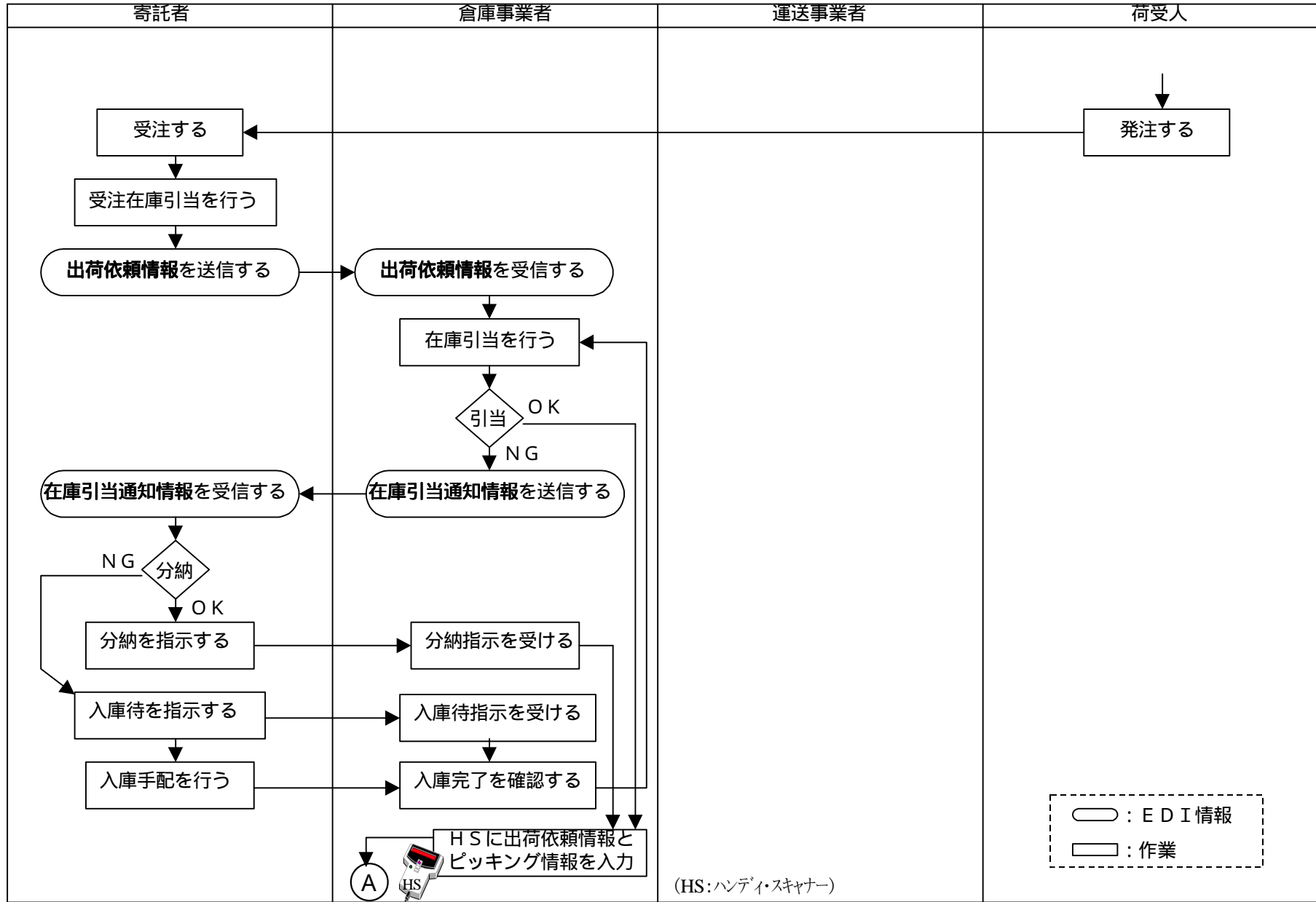
6.5.2 倉庫業務フロー
 (1) 持込入庫業務フロー図

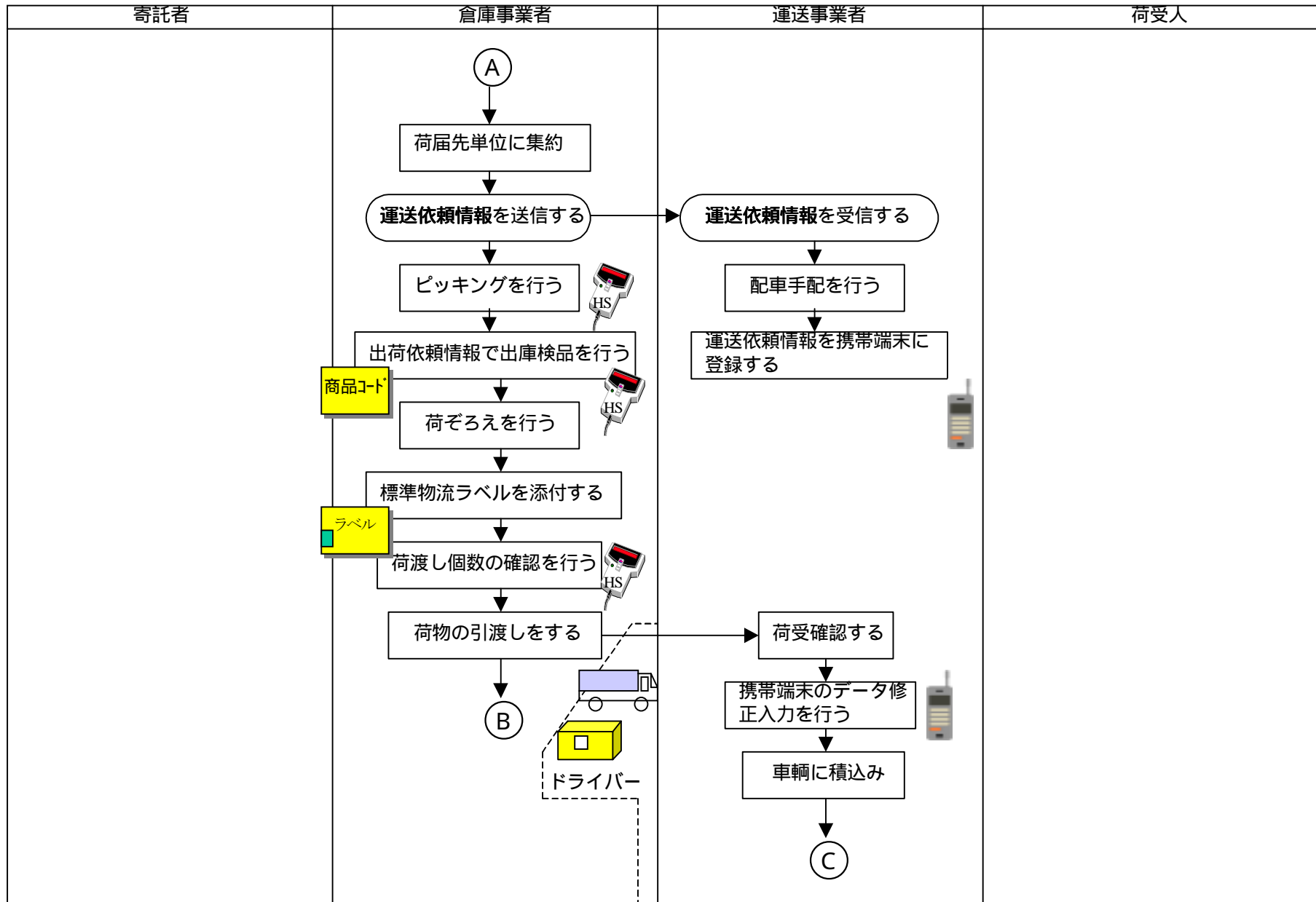


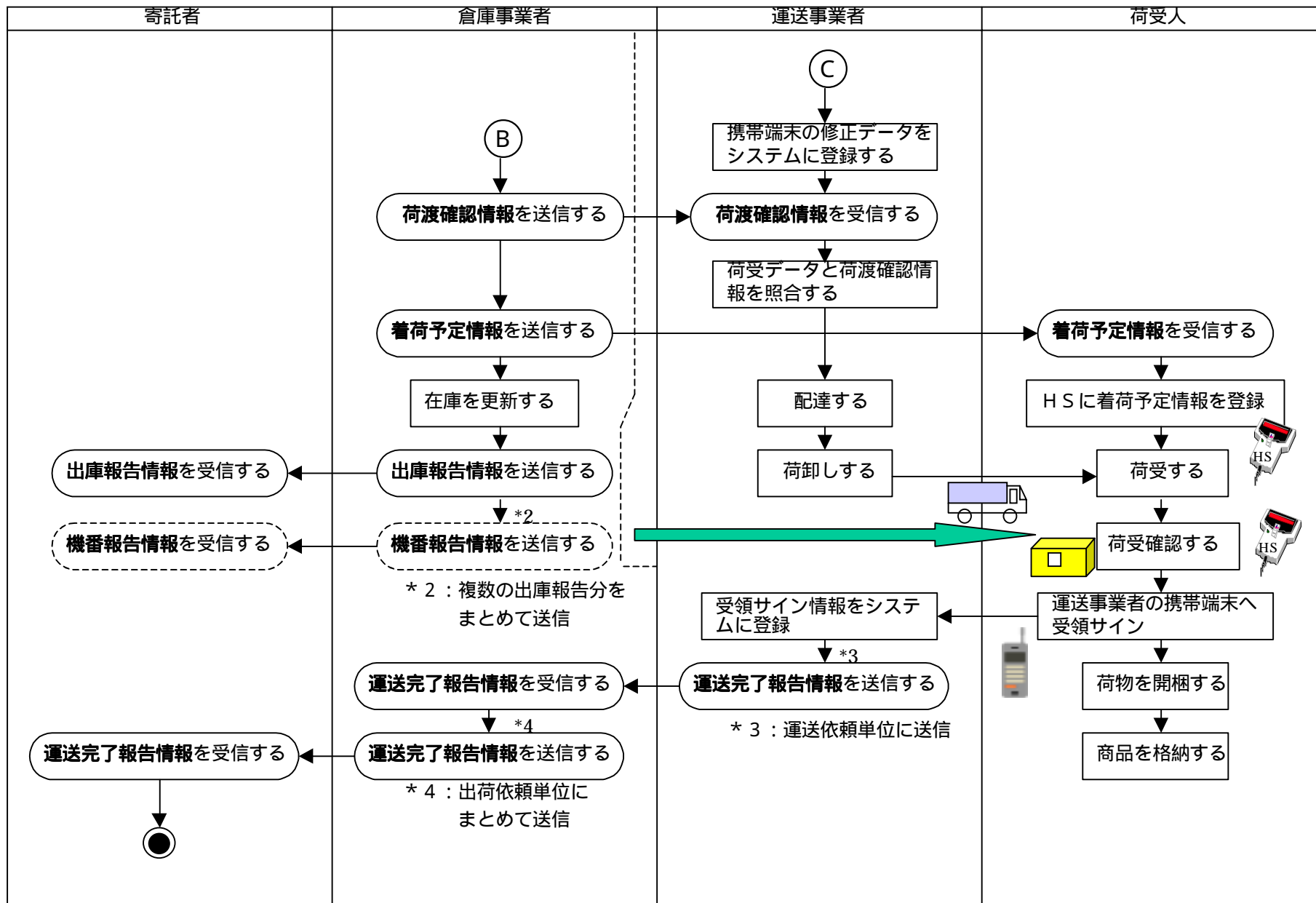




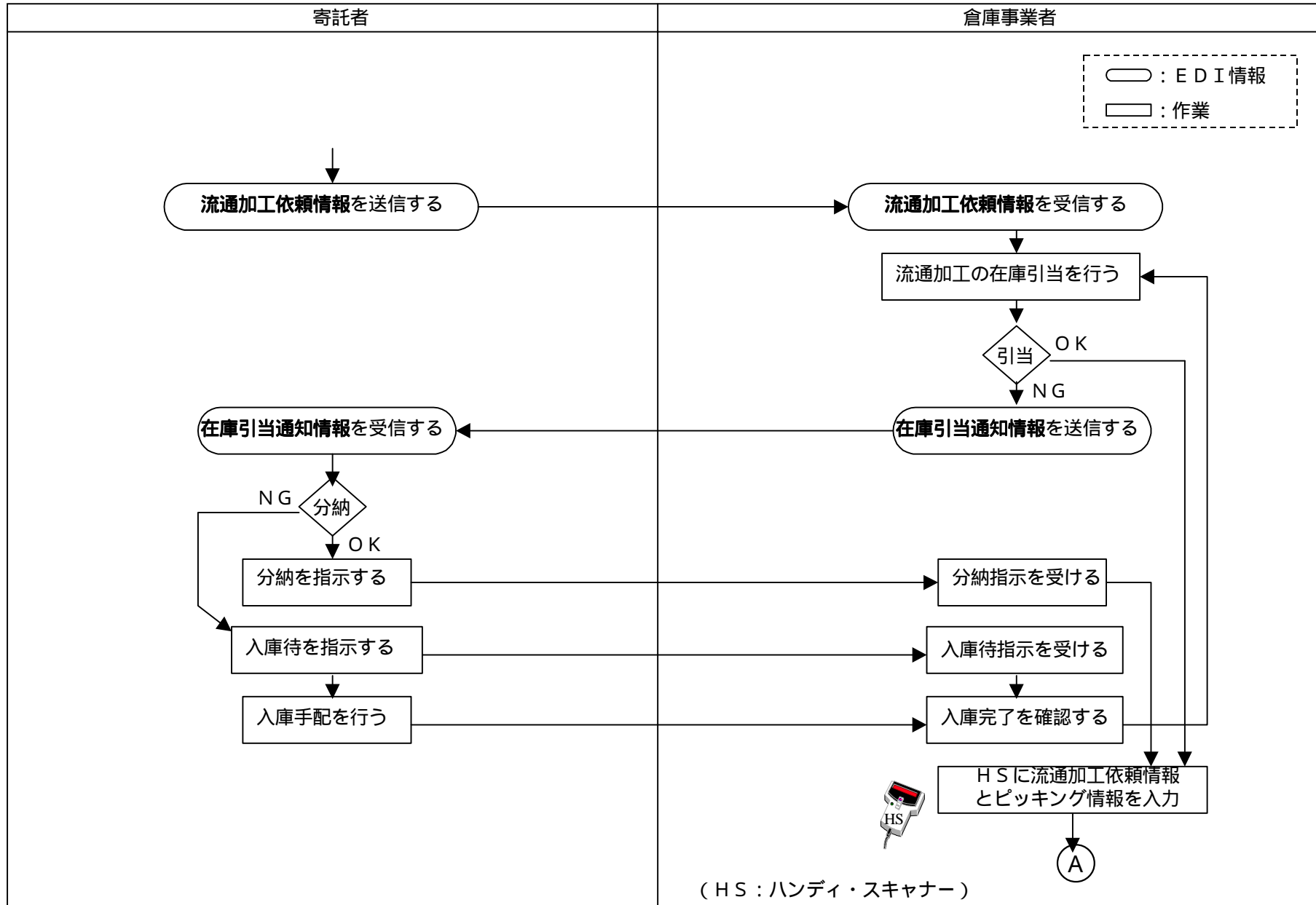
(2) 配達出荷業務フロー図

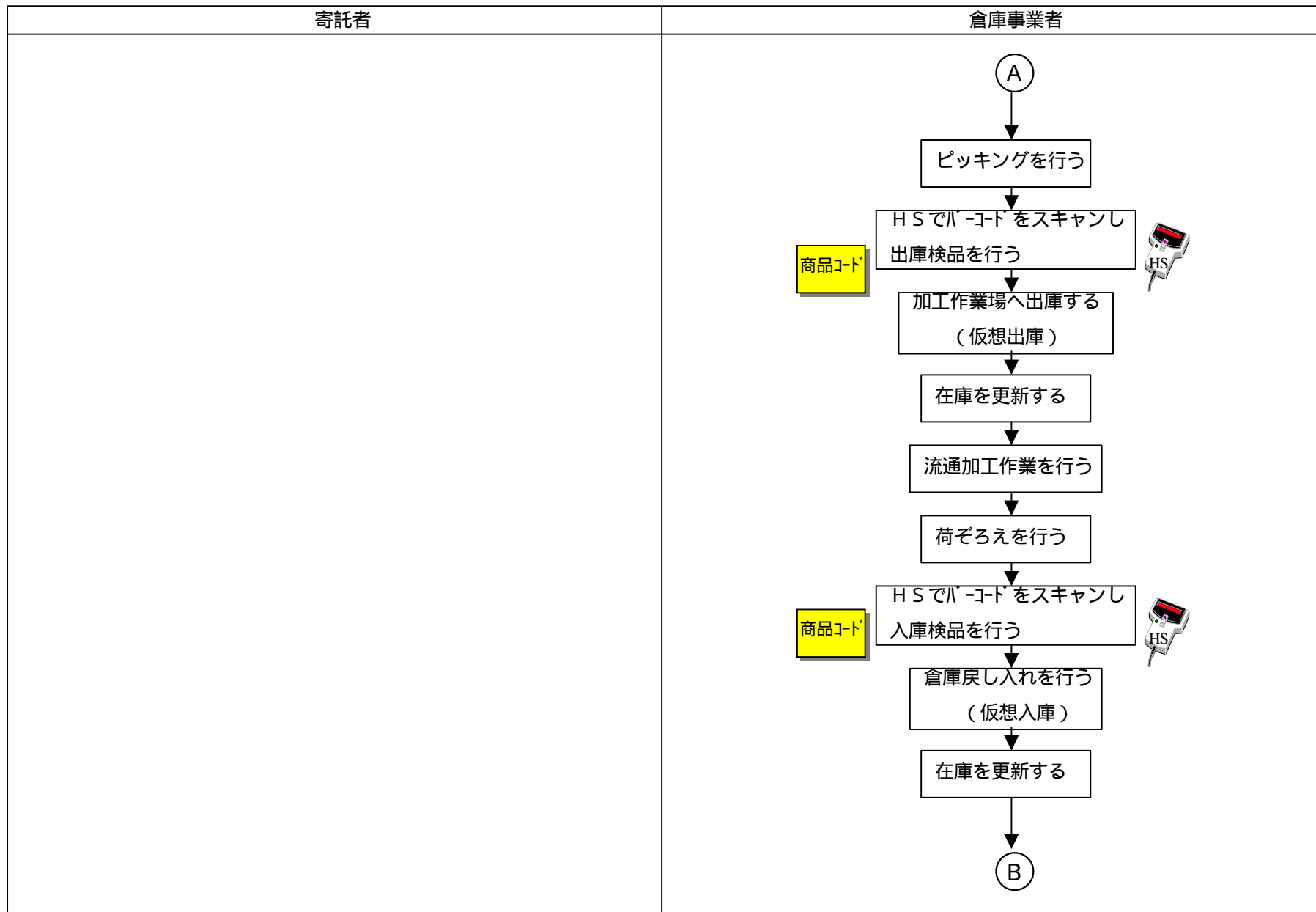


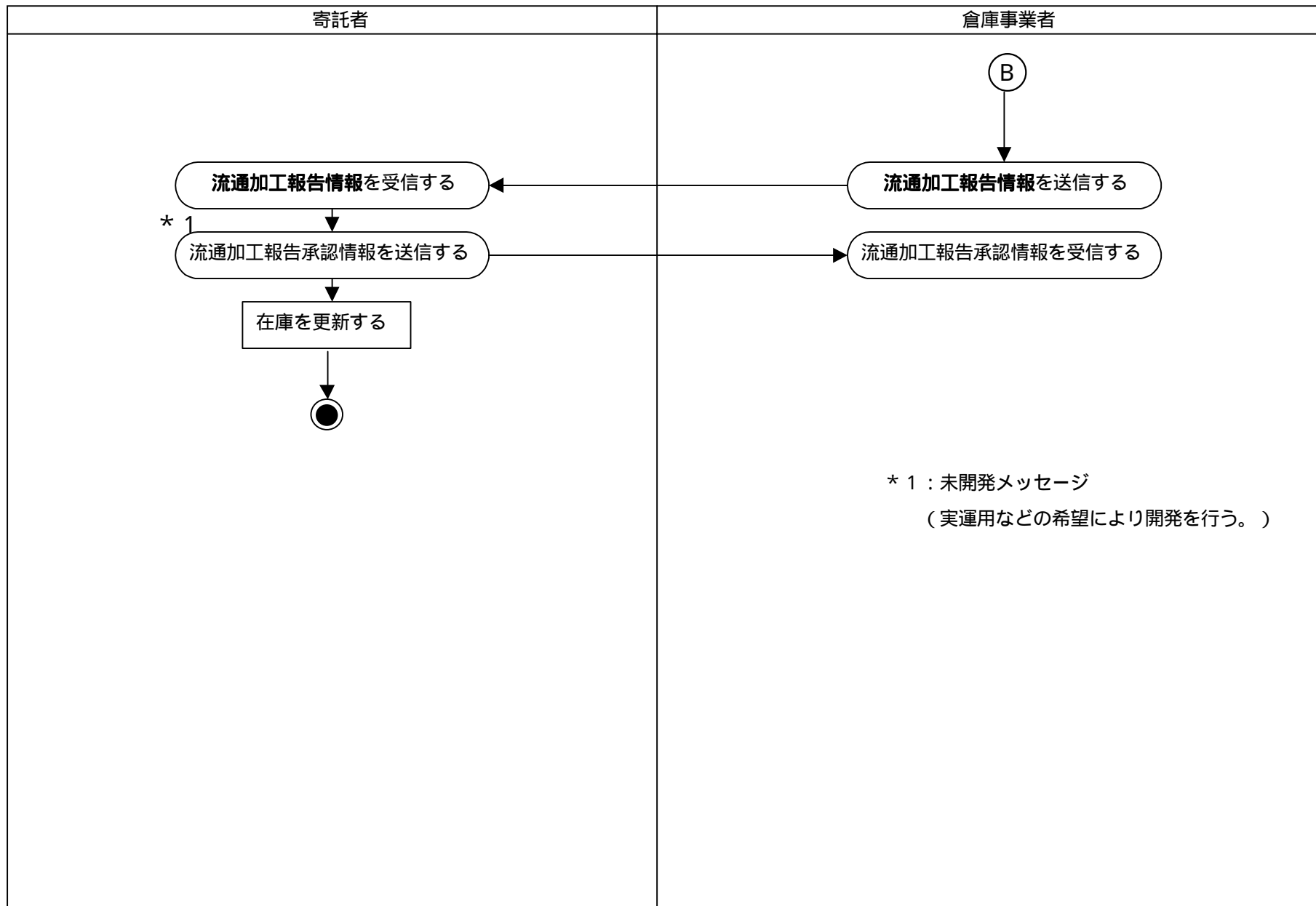




(3) 流通加工業務フロー図







参考資料

資料 1 . 用語集

ANSI X . 1 2 【 American National Standards Institute 】

米国規格協会 (ANSI) が制定した E D I 標準。

C I I 標準

(財) 日本情報処理開発協会 電子商取引推進センター (旧産業情報化推進センター) (Japan Information Processing Development Corporation/Electronic Commerce Promotion Center) が作成した構文規則 (C I I シンタックスルール) に基づく E D I 標準のこと。

シンタックスルール

構文規則とも呼ばれ、E D I メッセージの組立方法を示したものの。言語の文法に相当し、単語に当たるデータエレメントの並べ方やメッセージの先頭・末尾に付加すべきデータなどを規定している。

E D I (Electronic Data Interchange) : 電子データ交換

異なる組織間で、取引のためのメッセージを、通信回線を介して標準的な規約(可能な限り広く合意された各種規約)を用いてコンピュータ間(端末を含む)で交換すること。

e-business 【e ビジネス】

企業活動におけるあらゆる情報交換・蓄積手段を電子化し、経営効率を向上させること。また、その結果もたらされる電子化された企業活動の諸形態。

ebXML 【electronic business XML】

世界規模での企業間電子商取引に使われる標準技術の策定を目的として、XML のビジネス利用に関する標準仕様を定義する団体。また、同団体によって規定される技術標準。業種や規模、国家によらずあらゆる企業が利用できる仕様の策定を目指しており、ビジネスプロセスや取引情報のフォーマット、通信プロトコル、企業のレジストリやリポジトリなど幅広い内容を定義している。

J T R N (ジェイトラン)

物流 E D I 推進委員会 (L E D I C) が開発・管理している国内統一の物流 E D I 標準を指す。正確には、J T R N とは、C I I から物流 E D I 推進委員会に付与された B P I D (C I I シンタックスルールを用いて業界標準メッセージを開発している機関、グループ等にユニークに付与する記号) のこと。

トランスレータ【Translator】

各企業独自のデータフォーマットをシンタックスルールベースの標準メッセージのフォーマットに変換したり、逆変換するためのソフトウェアのこと。物流 E D I 用トランスレータとしては、高度物流情報化システム (A L I S) で開発された「クロストラン」(X T R A N) が販売されている。

プロトコル【protocol】

ネットワークを介してコンピュータ同士が通信を行う上で、相互に決められた約束事の集合。通信手順、通信規約などと呼ばれることもある。

ユニットロード

複数の物品または包装貨物を、機械および器具による取扱いに適するように、一つの単位にまとめた貨物のこと。

U N / E D I F A C T【 United Nations/EDI For Administration,Commerce and Transport 】

国連欧州経済委員会が開発した国際 E D I 標準で、シンタックスルールや標準メッセージを定めている。U N / E D I F A C T のシンタックスルールは、I S O (国際標準化機構) に I S O 9 3 7 5 として登録され、1 9 8 8 年に公開されている。

資料 2 . J T R N 検索ツール

J T R N 検索システム (2 D 版用) は、 J T R N (2 D 版) のデータエレメントを任意のキーワードで検索できるツールです。

J T R N の導入に当たり、自社で使用しているデータ項目が、 J T R N のどのデータエレメントに該当しているのかを探し出すときに、この J T R N 検索ツールを使用すると大変便利です。

なお、このソフトウェアは、「物流 E D I 標準集 J T R N (2 D 版) 」に付属している「 C D - R O M 」に格納されています。



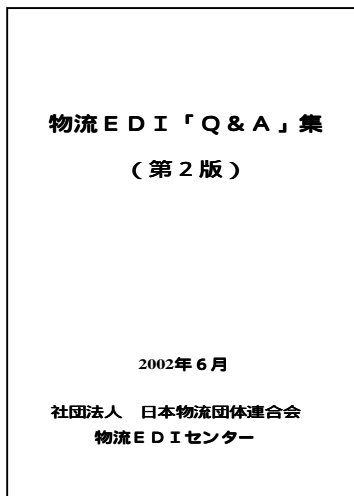
付図 - 1 J T R N 検索ツールのメニュー画面



付図 - 2 検索画面(「日」でエレメント名を検索した場合)

資料3 . 参考図書・ホームページURL一覧

1 . 物流EDI「Q&A」集（第2版）



平成14年6月発行
A4版38頁

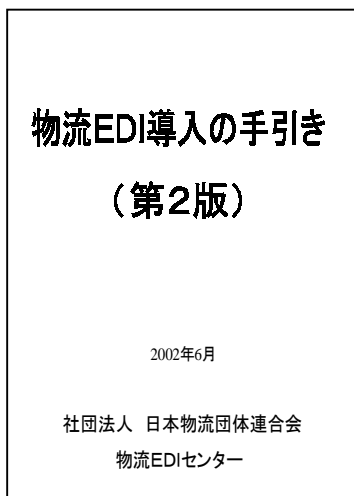
物流EDIに関する疑問点を、Q&A形式で一件一葉にまとめたもの。

物流EDI全般に関する疑問の他、荷主からの質問と物流事業者からの質問に分けて編集している。

下記のURLから無料でダウンロードできます。

<http://www.transport.or.jp/edi/down.html>

2 . 物流EDI導入の手引き（第2版）



平成14年6月発行
A4版48頁

物流EDIをこれから導入しようとするユーザー企業向けに編集した入門書。

物流EDI入門、物流EDIを導入するために、次世代EDIの3部構成。

導入手順については、データエレメントの選択、マッピングなどについて丁寧に解説している。

下記のURLから無料でダウンロードできます。

<http://www.transport.or.jp/edi/down.html>

3 . 参考ホームページURL

- ・ 物流EDIセンター <http://www.transport.or.jp/edi/index.html>
- ・ 標準企業コード一覧 <http://www.ecom.or.jp/jedic/code/code.htm>
- ・ 物流タウン <http://www.transport.or.jp/>
- ・ 汎用トランスレータ XTRAN <http://www.transport.or.jp/jrs/xtran/>
- ・ 標準企業コード登録申込 <http://www.transport.or.jp/edi/index.html>
- ・ JTRN（2D版）申込 <http://www.transport.or.jp/jffi/center/>
- ・ B to B 実用化事例等DB <http://www2.jecals.jipdec.or.jp/esquare/>

禁 無 断 転 載

J T R N 解 説 書 (第 2 版)

平成15年3月発行

発行所 社団法人 日本物流団体連合会

物流 E D I センター

東京都千代田区霞が関 3 - 3 - 3

全日通霞が関ビル内

電話 03 - 3593 - 0139

URL <http://www.transport.or.jp/edi/index.html>